

一 解答

- 問一 ① しょうわ ② ちあん ③ さいしゅ ④ まね(く) ⑤ いた(る)
⑥ 散策 ⑦ 織物 ⑧ 自負 ⑨ 退(く) ⑩ 貧(しい)

二

- 問一 1 測↓図 2 初↓始 3 関↓感
問二 1 ア 2 エ 3 イ
問三 1 イ 2 エ 3 ア 4 ウ

三

- 問一 1 ウ 2 ア
問二 エ
問三 ウ
問四 ア
問五 イ
問六 ア
問七 親の真似をしてシングルマザーやシングルファザーの子をからかっていると思ったから。
問八 ウ
問九 エ
問十 ウ

四

- 問一 1 イ 2 エ 3 ア
問二 イ
問三 人間のひどいおごり
問四 ア
問五 ウ
問六 ウ
問七 エ
問八 環境に適応し、多くの子孫を残し、遺伝的系統を絶やさずに維持できたかということ。
問九 ア

三 解説

- 問四 「すみません、笠井さん」と耕平が頭をさげた後、カケルが冷たい声で発した言葉に、母親がいきりたったことから、最も適当なものは選択肢アの「あやまることなんてないよ」であるとわかります。
傍線⑧の直前にある「やっぱりカケルはチツチの子だった。でも、つぎにあんなことがあっても、頭だけはやめておけよ。ほかなら適当にやっつけていいからな」という会話から、チツチがカケルのことを認めていることがわかります。選択肢ウの内容が最も適当です。